

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書	
平成 29年 6月 19日	
愛知県知事殿	
提出者	
住 所 大阪市此花区西九条6丁目1番124号	
氏 名 大日本塗料株式会社	
取締役社長 岩浅 寿二郎	
小牧工場長 平林 和幸	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0568-72-4141	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	大日本塗料株式会社 小牧工場
事業場の所在地	小牧市大字三ッ渕字西之門878
計画期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	17 化学工業
②事業の規模	
③従業員数	274名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙(I)

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙(Ⅱ)

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（平成 28年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油(廃塗料)	引火性廃油(廃溶剤)
	排 出 量	372 t	264 t
	(これまでに実施した取組) 廃塗料→各工程の見直しと従業員に対する排出抑制に関する教宣指導を積極的に実施したが、排出量は微増し成果を出す事が出来なかった。 廃溶剤→まとめ生産、連続生産等積極的に進めたが品種の増加・小口受注による洗浄工程増ではあったが洗浄工程の改善等実施した結果、排出量を微量ではあるが抑える事が出来た。		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油(廃塗料)	引火性廃油(廃溶剤)
	排 出 量	354 t	251 t
	(今後実施する予定の取組) 廃塗料→製品塗料の水性化、原料等の配合変更、製造塗料の歩留アップ、半製品、要手品100% 消化 廃溶剤→塗料の色替え工程で内部溶剤使用。 まとめ生産、連続生産等による洗浄工程の削減 各機械の設備の洗浄方法の改善等前年同様継続して進めていく。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃塗料、廃溶剤の分別に関する教育指導実施 (新入社員・業託者等)
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 前年同様継続して教育指導実施。

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（平成 28年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油（廃塗料）	引火性廃油（廃溶剤）
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 実施していない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油（廃塗料）	引火性廃油（廃溶剤）
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 実施予定なし		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（平成 28年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油（廃塗料）	引火性廃油（廃溶剤）
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 実施していない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油（廃塗料）	引火性廃油（廃溶剤）
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 実施予定なし。		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
① 現状	【前年度（平成 28年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油（廃塗料）	引火性廃油（廃溶剤）
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 実施していない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油（廃塗料）	引火性廃油（廃溶剤）
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 実施予定なし。		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（平成 28年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油（廃塗料）	引火性廃油（廃溶剤）
	全処理委託量	372 t	264 t
	優良認定処理業者への処理委託量	258 t	— t
	再生利用業者への処理委託量	291 t	264 t
	認定熱回収業者への処理委託量	11.5 t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 廃塗料→優良認定処理業者、認定熱回収業者への比率を増加させた。 溶剤→従来通り 廃再生利用業者へ100% 処理委託		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油(廃塗料)	引火性廃油(廃溶剤)
	全 処 理 委 託 量	3 5 4 t	2 5 1 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	2 7 1 t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	2 7 6 t	2 5 1 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	1 2 t	— t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	廃塗料→排出抑制すると共に優良認定処理業者、認定熱回収業者への委託量の比率をアップする。		
	廃溶剤→排出抑制すると共に従来通り今年度も再生利用業者へ100% 処理委託する。		
※事務処理欄			

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙(Ⅱ)			
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（平成 28年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	有害ばいじん	
	排 出 量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 配合上の有害物(原料)の配合変更による使用量削減に努力し排出量削減に繋げる事が出来た。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	有害ばいじん	
	排 出 量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 前年より継続して有害物(原料)の配合変更に取り組む。 (ISO14001 環境目的目標実施計画一覧表に掲げ技術グループ活動)		
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 実施していない。		
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 実施予定なし		

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（平成 28年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	有害ばいじん	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	t
	（これまでに実施した取組） 実施していない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	有害ばいじん	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	t
	（今後実施する予定の取組） 実施予定なし		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（平成 28年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	有害ばいじん	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	— t	t
（これまでに実施した取組） 実施していない。			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	有害ばいじん	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	— t	t
（今後実施する予定の取組） 実施予定なし			

(第4面)

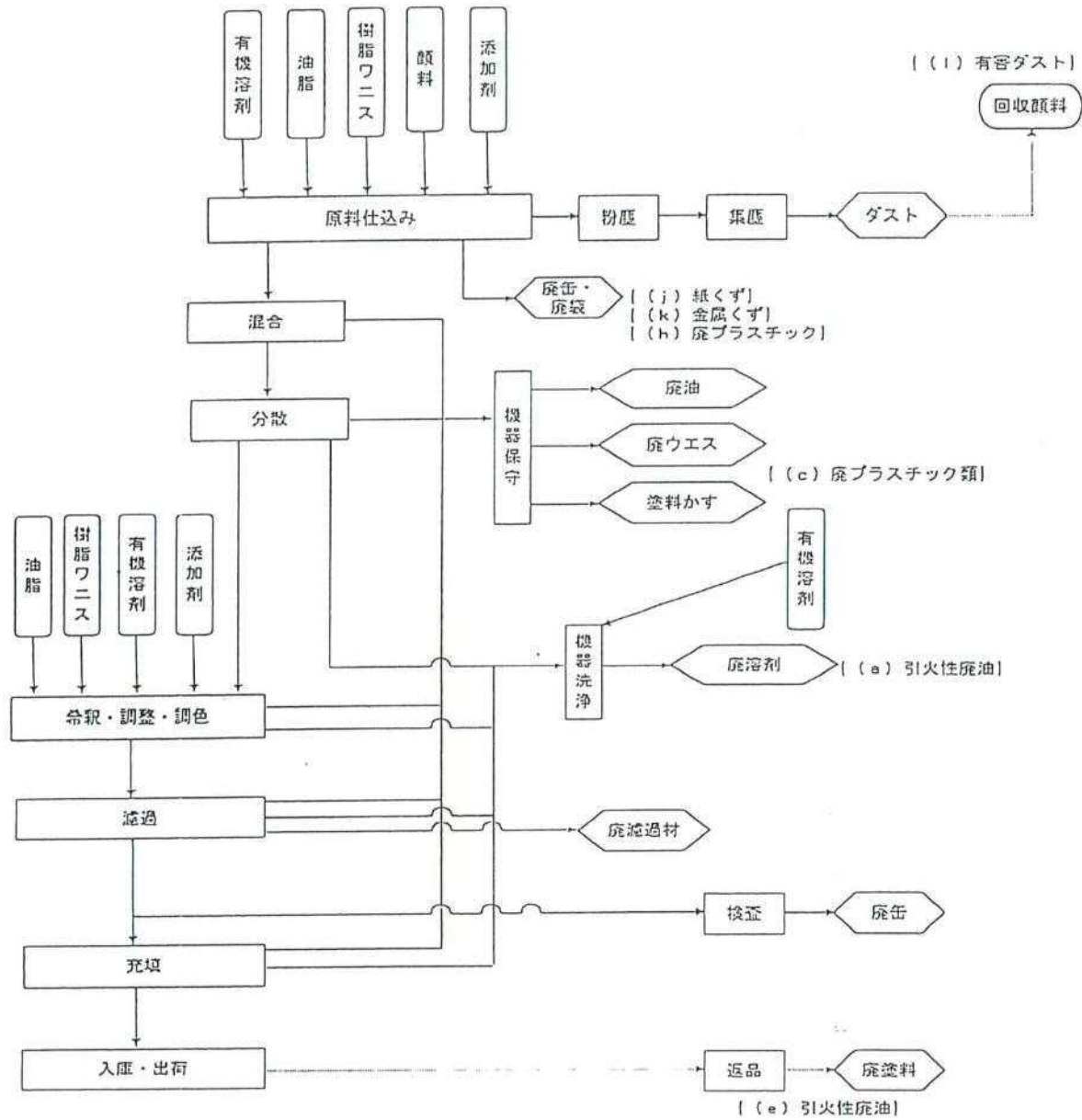
自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
① 現状	【前年度（平成 28年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	有害ばいじん	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	有害ばいじん	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし。		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（平成 28年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	有害ばいじん	
	全処理委託量	0 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	t
	再生利用業者への処理委託量	— t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	t
	(これまでに実施した取組) 有害物(原料)の配合変更に依る使用量の削減。		

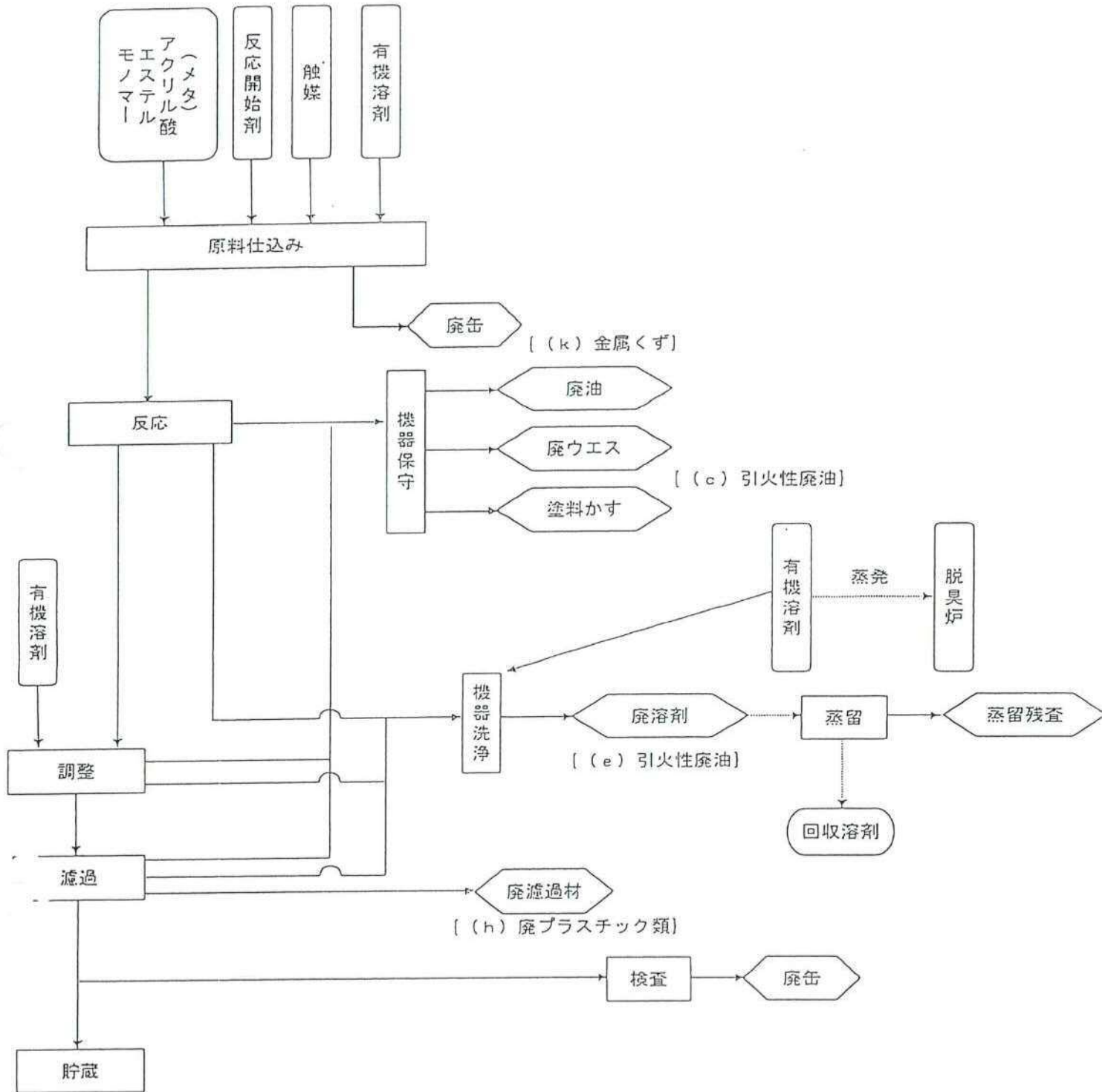
(第5面)

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	有害ばいじん	
	全処理委託量	0 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	— t	t
	再生利用業者への 処理委託量	— t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	前年より継続して有害物(原料)の配合変更に取り組む。 (ISO14001 環境目的目標実施計画一覧表に掲げ技術グループ活動)		
※事務処理欄			

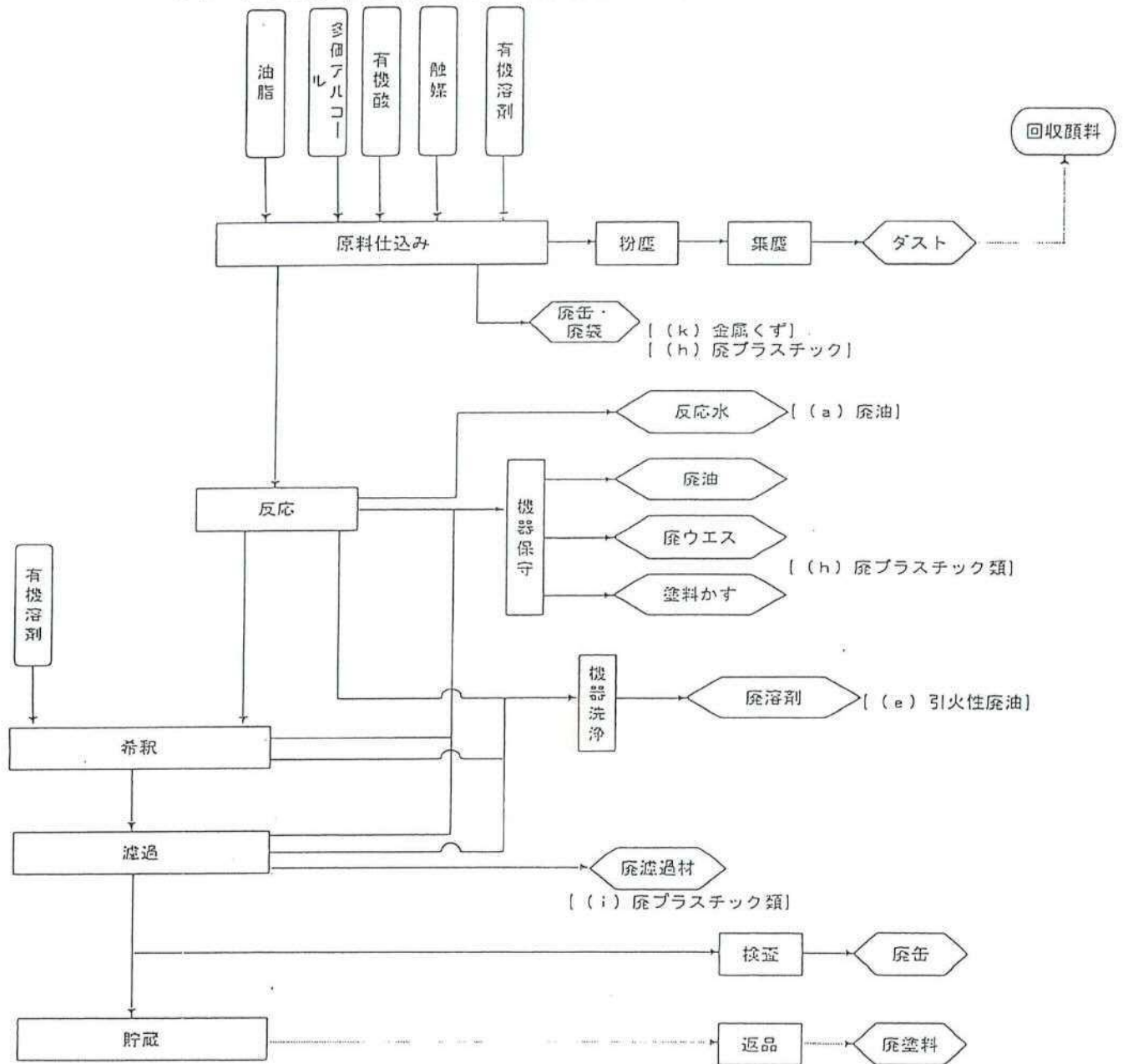
油性塗料産業廃棄物発生工程フロー



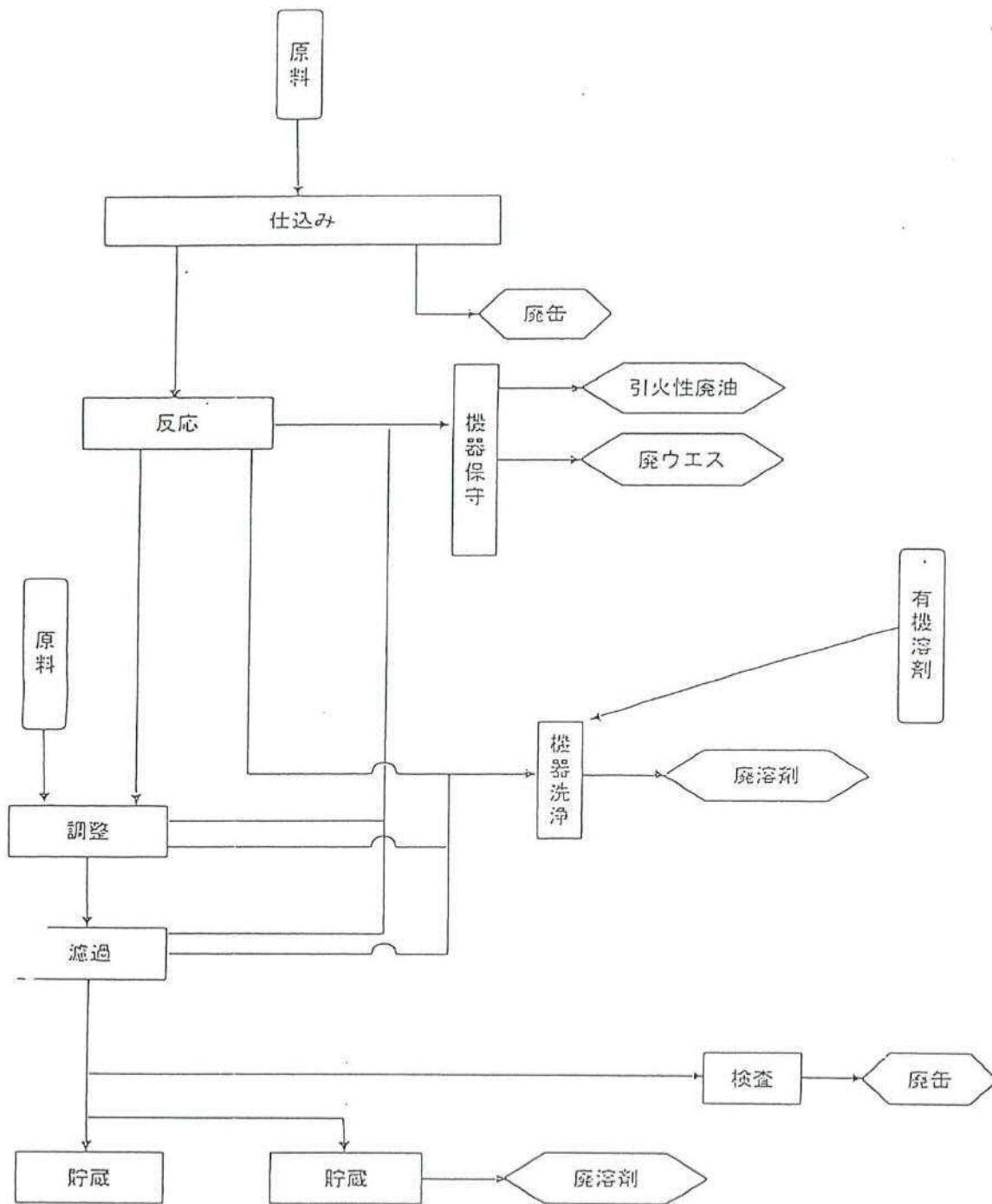
アクリル合成樹脂製造産業廃棄物発生工程フロー



アルキド合成樹脂製造産業廃棄物発生工程フロー



ワニス合成樹脂製造産業廃棄物発生工程フロー



別紙(E)

産業廃棄物の処理に係わる管理体制に関する事項

統括責任者	職・氏名	工場長 [REDACTED]		
廃棄物担当部署	名称	工程課	人員数	3人

管理体制図

```

graph TD
    FM[工場長(廃棄物処理統括責任者)] --- ES[環境事務]
    FM --- OQM[事務所  
品質管理課]
    FM --- TDI[技術本部  
工業塗料本部]
    FM --- M123[製造第一・二・三]
    FM --- AS[関連会社]
    
    OQM --- OM1[廃棄物担当者  
1名]
    TDI --- OM3[廃棄物担当者  
3名]
    M123 --- OM6[廃棄物担当者  
6名]
    AS --- OM3_2[廃棄物担当者  
3名]
    
    ED[工程課] --- IWM[産業廃棄物管理責任者]
    ED --- SM[特別管理産業廃棄物管理責任者]
  
```

添付資料

産業廃棄物管理責任者	所属・職・氏名	品質管理課 [REDACTED]
特別管理産業廃棄物管理責任者	所属・職・氏名	品質管理課 [REDACTED]

大日本塗料小牧工場平面図

Scale 1:1,200

